

ネイティブウサギアルドラーゼ

Cat. No. NATE-0048

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 フルクトース-ビスリン酸アルドラーゼ (EC 4.1.2.13)、一般にアルドラーゼと呼ばれるのは、可逆反応を触媒する酵素で、アルドールであるフルクトース 1,6-ビスリン酸をトリオースリン酸であるジヒドロキシアセトンリン酸 (DHAP) とグリセルアルデヒド 3-リン酸 (G3P) に分解します。アルドラーゼは、フルクトース 1-リン酸やセドヘプトロース 1,7-ビスリン酸などの他の (3S,4R)-ケトース 1-リン酸からも DHAP を生成することができます。グルコネオゲネシスとカルビン回路は、同化経路であり、逆反応を使用します。解糖系は、異化経路であり、前方反応を使用します。アルドラーゼは、メカニズムによって二つのクラスに分けられます。

用途 アルドラーゼは、フルクトース 1,6-ビスリン酸をジヒドロキシアセトンリン酸およびグリセルアルデヒド 3-リン酸に交換するために使用されます。ウサギの筋肉由来のアルドラーゼは、DHAP C3での立体特異的脱プロトン化に使用されました。この製品は基本的に硫酸塩フリーで、クエン酸バッファー塩を含んでいます。

別名 アルドラーゼ; フルクトース-1,6-ビスリン酸トリオースリン酸リラーゼ; フルクトースビスリン酸アルドラーゼ; フルクトース二リン酸アルドラーゼ; D-フルクトース-1,6-ビスリン酸D-グリセルアルデヒド-3-リン酸リラーゼ; EC 4.1.2.13; 9024-52-6

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの筋肉
形態	凍結乾燥粉末。基本的に硫酸塩フリーで、クエン酸バッファー塩を含んでいます。
EC番号	EC 4.1.2.13
CAS登録番号	9024-52-6
活性	タイプI、凍結乾燥粉末、> 8.0単位/mgタンパク質; タイプII、硫酸アンモニウム懸濁液、10-20単位/mgタンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、25°Cで1分あたり1.0 μmoleのフルクトース 1,6-ビスリン酸をジヒドロキシアセトンリン酸とグリセルアルデヒド 3-リン酸に交換します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C